

# Nagasaki Bus Group



# CSR Report 2019

## 人と人 街と街を結ぶ

毎日の暮らしとともに  
長崎バスグループ



長崎バスグループ  
CSRレポート2019  
NAGASAKI BUS GROUP CSR REPORT

# For The Future

## of Hometown Nagasaki



代表取締役社長 嶋崎真英

### 社長あいさつ

令和の時代が幕を開けた2019年、長崎バスグループは成長戦略である中期経営計画が最終3rdステップへと移行し、これまでの地域ぐるみの成長に向けた取り組みを開花させる1年となりました。

6月には五島自動車株が運営する「GOTO TSUBAKI HOTEL」がオープンいたしました。ホテル開業に合わせオープンした囲炉裏焼きの食事処「椿茶屋」とともに、注目を集める五島観光の受け皿として、五島の発展に寄与してまいります。

9月には、予てより開発を進めていた地域創生型ICカード「エスタスタカード」の販売と利用を開始し、電子マネー事業への新規参入を果たしました。

エスタスタカードは、2015年の長崎サミットにおいて打ち出された、長崎地域ICカード構想に端を発したもので、地域の活力維持に寄与するため、交通機関、商業、大学、病院、観光施設など幅広い分野で利用できる街カードを目指すものです。

地域創生という私たちの理念に多くの方がご賛同くださり、利用者は12万人を突破いたしました。

長崎バスグループが基盤とする乗合バス事業におきましては、沿線人口の急速な減少が進む中、今後ますます厳しい状況になることが予想されますが、生活の足である長崎バスの運行を継続するためにも、データを活用した効率的なダイヤ改正を実施し生産性を向上させるとともに、行政並びに関係各所との連携を深めることで課題解決を図って参ります。

人口減少と高齢化の進行、IoT、AIといった技術革新の急速な進展など、今後も当社を取り巻く環境は目まぐるしく変化していくことが予想されます。

長崎バスグループも、令和の時代にふさわしいビジネスモデルを確立し、地域とともに持続可能な成長を果たしてまいりたいと存じます。

## 日本一愛されるバス会社へ 新時代にふさわしい 成長戦略の実現に向けて

### 長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、  
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

### 経営理念

**安全と安心** 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。

**感謝のこころ** お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

**仕事への誇り** 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

**地域とともに** 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。



# 「エヌタスTカード」 導入から4カ月で 12万枚突破

「エヌタスTカード」は、  
バス・タクシーで利用できる『交通系ICカード』と  
お買い物に利用できる『電子マネー（エヌタスマネー）』と  
日本最大級の共通ポイントサービス  
『Tポイントカード』が一体となった、  
生活に密着した利便性の高いICカードです。



## 多機能ICカード 「エヌタスTカード」

2015年に開催された長崎サミット（長崎都市経営戦略推進会議）において、地域ICカード構想が打ち出されました。この地域ICカード構想は、長崎の交通事業者と商業事業者、そして行政が一体となり、地域の皆様の利便性向上と地域経済の活性化に役立つ、長崎独自の多機能ICカードを創出しようというものでした。

その構想に共感しました当社が、長崎スマートカードの後継となる、交通にも商業にも利用可能な「街カード」の開発に着手したのは、4年前のことです。当社にとって、多機能ICカードの開発は未知の分野であり、課題も多く、試行錯誤を繰り返しながらの歩みとなりました。しかし、様々な分野の方にご協力をいただいたことで、一歩一歩前進を続け、2018年7月2日にカードの企画および運営を担う株式会社エヌタスを設立。そして、2019年9月16日に「エヌタスTカード」はサービスインを果たしました。

エヌタスTカードの名称は長崎の頭文字「N」に便利やお徳、楽しいことがどんどん足される（プラスされる）ことを表現したものです。そして、目指す理想は、地域の方々に高い利便性を提供し、資金と情報の地域内好循環を実現することです。私たちが選択した地域独自カードの強みである、開発や運用の自由度の高さを活かし地域のニーズに添ったオーダーメイドの利便性を提供することで、多くの人を惹きつける魅力あるカードを目指してまいります。

# Safety and Security

## 安全・安心

### 運転者スキルアップ研修

長崎バスでは、お客様に安全かつ快適にご乗車いただくため、4月より運転者を対象とした新たな研修「運転者スキルアップ研修」を実施しています。3年計画で対象となる運転者約600名が受講するこの研修では、最新のデジタルタコメーターにより各人の運転データを解析。無意識のうちにお客様に不快な思いをさせる運転操作について解説するとともに、車内案内のタイミングや音量、ドア開閉操作の手順といった基本動作についても再確認を行います。また、実際にお客様の立場になって体験することで乗り心地の良い運転技術を習得します。その他、後退時の事故など特に発生件数の多い事故に焦点を当て、「なぜ事故は起こるのか?」「どうしたら防げるのか?」ということについても理解を深めます。

スキルアップ研修は、長崎バスの品質向上に向け大いに期待される研修です。



### 安全運転講習会の開催

「安全と安心」を経営理念とする長崎バスグループにとって、交通事故の根絶はバス事業に限ったことではありません。業務や日常生活で自動車を使用する際も、安全運転を心がけ、交通事故防止に努める必要があります。

グループ各社の従業員を対象に安全意識と運転技術の向上を図りました。また、もう一つの目的であったグループ会社間の交流・協力意識についても十分に高めることができました。



### 運行管理者研修

長崎バス安全教育センターでは、運行管理者としてのスキル、およびコミュニケーション能力の向上を目的とした研修を、営業所主任を対象に年に2回実施しています。また、各階級に求められる役割と問題解決について、外部講師を招いた研修も営業所長、係長へ実施。本年は、グループ会社の運行管理者も参加し研修を行いました。

輸送の安全と安心を確立するために一人ひとりが管理者として高い意識の維持継続、指導力の向上を図っております。



### 島鉄スキルアップ研修

高原鉄道(株)の貨物ドライバーに対する研修会を開催し、2日間で9名のドライバーが受講しました。この研修は、安全教育センターのインストラクターが島鉄へ出張し、貨物ドライバーに求められる安全運転のための基本の再確認を行い、実技研修を通して、安全意識と運転技術の向上を図りました。

受講者からは「今まで気付かなかったこと、忘れていたことなど認識する良い機会となった」などの感想があり、安全に対する意識の向上につながりました。



### 打坂慰霊法要

昭和22年、危うく崖から転落するところだったバスを自らの身を挺して停止させ、多くの乗客の命を救った鬼塚道男車掌(享年21)。

時津町打坂に建立されている地藏尊にて毎年執り行われている慰霊法要には、今年も役員並びに関係者が出席しました。参列者は鬼塚車掌のご冥福をお祈りするとともに、運輸の安全性向上によりいっそう力を尽くすことを誓いました。



### 消防訓練の実施

長崎市消防局協力のもと、長崎バス柳営業所において消防訓練を行いました。乗客の避難誘導、逃げ遅れた乗客の救出、実際の消防車を使用しての放水など、終始、緊張感のある訓練となりました。また、消防訓練終了後は営業所内に場所を移し、訓練用の人形を使用して、人工呼吸などの救急救命講習も行いました。

また、みらい長崎ココウォークにおいて、館内での火災発生を想定した初期消火訓練を行いました。長崎バス建物総合管理(株)が主導した今回の訓練には、ココウォークのスタッフに加え、ご来店いただいているテナントの皆様も参加。施設屋上に用意された消火器や消火用散水栓を用いて、カラーコーンを火元に見立てた放水訓練も行いました。

長崎バスグループは、日頃から非常事態に対応できるよう、万全の備えを整えております。

消防訓練の様子





雲仙のミヤマキリシマ

## 青雲荘の自然環境保全活動

「雲仙を美しくする会」は、日本で最初の国立公園となった「雲仙」を地元住民によって、さらに美しい雲仙にしようとする目的で昭和40年に発足されました。雲仙温泉の5つの自治体を中心となり、地域の活動団体などと協力し、地域の清掃やミヤマキリシマの群落保護のため、池の原園地の下刈り作業などの自然環境保全活動を実施しています。

また、環境省主催の「自然公園ごみゼロデー」が毎年5月30日(ゴミゼロ)に開催され、今年も地域の方々と一緒に国立公園内の清掃を行いました。

青雲荘ではこのような活動に積極的に参加し、自然保護活動に取り組んでいます。

## 営業所の清掃活動

長崎バスの各営業所では、所員が日々運行している路線の清掃活動を行なっております。

バス停や路線のごみ拾い、生い茂った草木の刈り取りなど、お客様が安全かつ快適にバスにご乗車いただけるような環境を整えております。



清掃活動の様子

## エコ運動

長崎バスでは、毎年7月に従業員個人表彰式を行っており、2019年度は、優良従業員、永年勤続、精勤、運転無事故、エコ運動、功労と各分野にわたって、延べ721名が受賞しました。

エコ運動表彰とは、年間の燃料節約目標を100%達成し、勤務態度が良好な者が受賞します。中には、20年以上連続受賞している者もあり、継続的に燃料節約に取り組んでいます。

これからも、一人ひとりが燃料節約意識をもって、エコ運転に取り組んでまいります。

## バスのリユース・リサイクル

長崎バスでは、点検・整備・修理を繰り返しながらバスの車両を使用しています。一般路線バスは最長で25年間、空港線バス車両は12年間使用し、役目を終えた車両は、解体してリサイクルもしくは、状態の良いバス車両は、十分な整備を行ったうえグループ会社および他社でリユースしております。

### リユース・リサイクルの台数

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
リサイクル	30台	9台	10台	7台	13台
リユース	1台	6台	13台	12台	0台



自然公園ごみゼロデー  
参加者の皆さん

# Eco logy

## 環境活動

# Community

## 地域社会



### 長崎バスパーロンチーム

2019年7月27日に開催された長崎パーロン選手権大会職域対抗レースに、長崎バスパーロンチームが出場しました。26人の漕ぎ手は、全員バスの安全運行を支える整備士で揃え挑んだ再始動2年目の大会結果は10チーム中5位入賞。上位入賞こそ逃しましたが、優勝の夢へ一歩前進の実りあるシーズンとなりました。

長崎バスカラーのデザインに、グループのロゴマークが舟体中央に施されたパーロン舟は、一昨年にご逝去された上田恵三会長のご家族様より頂戴したご寄付にて建造したものです。

この日のために、3カ月に亘る猛特訓を行ってきた選手の皆さんに、応援席からは惜しみない拍手が贈られました。



### バスの乗り方教室の開催



長崎バス安全教育センターでは、公共交通であるバスのご利用方法や乗車時のマナーを学んでいただき、交通安全への理解を深めるため幼稚園児や小学生を対象としたバス教室を開催しています。

絵本の読み聞かせや、実際のバスを使用しての乗車体験、エンジンやタイヤの説明等、バスについて楽しみながら学んでいただける教室です。

近年は、小学校の統廃合がありバスで通学するお子様も多くなっております。バス教室で、実際のバスを使用し乗車体験を行うことで、抵抗なくバスに乗れるようになります。2019年は多くの幼稚園や小学校からご依頼いただき、計15回525名を対象に実施しました。



### バスフェスタの開催

令和初のバスフェスタを、みらい長崎ココウォークにて開催しました。このバスフェスタはお客様並びに地域の皆様への感謝の気持ちをお伝えすることを目的に2009年から開催しており、本年度で10回目となります。今年のテーマは、「みらいの笑顔を“ココ”から」。昨年もお好評いただいた長崎バスや島原鉄道の写真を使った缶バッジ作りや、抽選会、グッズ販売、ミニコンサートなどが行われ、まさに笑顔溢れるバスフェスタとなりました。

また会場では、エスタスタカードのサービスインを記念した特別企画として、絵や写真をエスタスタカードにプリントする、オリジナルカード作りを行い大変盛況いただきました。

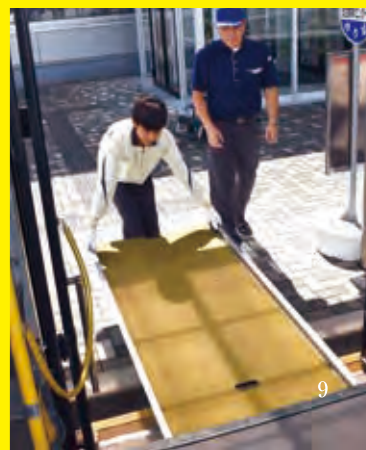


### 次世代育成の取り組み

「長崎バス」という会社を知っていただくだけでなく、働く目的や意識、将来について考えるきっかけ作りとして、近隣の中学校や高校からの職場体験の要請を積極的に受け入れております。教習車を使ってバスの運転者の仕事を理解していただく安全教育センターでの体験、整備工場や営業所でも業務を体験していただいております。

また、10月には、長崎県立諫早高等学校にて開催された「未来人財セミナー」に参加しました。このイベントは、高校1年生を対象に職業理解と地元企業の魅力を知り、ふるさとへの思いを育てるということを目的に開催されました。

長崎バスグループは、このような活動を積極的に行い、次世代育成の取り組みを行ってまいります。



職場体験をする高校生

# Community

## 地域社会

### 長崎バス観光開発振興基金

長崎バス観光開発振興基金は、昭和61年に観光を通じて、社会、経済、教育、文化、科学技術の振興など、広く時代の要請にこたえる事業への助成を行い、豊かな郷土づくりと人づくりに寄与することを目的に設立しました。

2019年度は、文化振興、地域のブランドの構築、人材育成を図るため、計16団体への助成を行いました。



【楽ギャラリー】長崎と和蘭陀ー長崎の姉妹都市を巡る写真展ー

### 島原鉄道(株)地元高校生の車内CM

島原鉄道では、地元高校生が吹き込んだ沿線3市(諫早・雲仙・島原)の観光PRを車内で放送しています。この試みは6年前からスタートし、2019年4月には3度目のリニューアルが行われました。

今回は、諫早市を諫早高校、雲仙市を国見高校、島原市を島原商業高校の各放送部が担当しました。放送では、諫早市が「のんこの諫早まつり」、雲仙市が「島鉄愛野駅」、島原市が「城下町」「寒ざらし」などを中心に歴史や観光地の見どころが紹介されています。地元高校生によるアナウンスは、素朴で温かみがあると、ご好評いただいております。



諫早高校



国見高校



島原商業高校



市民会館出前講座の様子

### みらい長崎ココウォークで長崎市民会館の出前講座を開催

長崎市民会館館長井手達夫氏によるトークセッション「市民会館出前講座」をみらい長崎ココウォーク5F TSUTAYA BOOKSTORE イベントスペースで開催しました。

ブック&カフェのエリアの特性を活かし、来場者とともに長崎サブカルチャーをセッションするイベントです。「市民会館出前講座」の名称を活かして長崎市民会館の魅力を高め、幅広い世代が「中央公民館講座」へ参加するきっかけを目的にしたものです。

みらい長崎ココウォークでは、このような活動を通じて地域の皆さまと一緒に楽しむことができる様々なイベントを行っています。

### 高齢者向けバス教室

長崎バス安全教育センターでは、バスならではの車両特性や車中での危険な行動について知っていただくことで、お客様のより安全なご乗車に役立つことを目的としてシニア層を対象としたバス教室を開催しています。

高齢ドライバーによる事故が増える中、今回は、トヨタカローラ長崎(株)様にもご協力いただきサポートカー体験も行いました。参加者は、とてもいい勉強になったと、大満足の様子で教育センターを後にされました。

今後も、このような教室を通じて、お客様のご理解・ご協力をいただきながら、安全・安心な運行に努めてまいります。



### 運転免許証自主返納者をサポート

高齢者による事故が増加していることを受け、自主的に運転免許証を返納される方が増えています。そうした中、移動手段の不安を解消すべく、長崎バスでは、運転免許証を自主返納した方を対象に1か月分の昼間全線フリー定期券をプレゼントしています。

私たちは、交通事故を未然に防止するため、運転に不安を抱える高齢者の方などの運転免許証の自主返納を応援します。

### IT人材の育成を応援

長崎自動車(株)が発行した私募債手数料の一部で、長崎大学にノートパソコンを寄贈しました。これは、(株)十八銀行の地域貢献活動型商品「〈18〉CSR私募債」を活用したものです。同私募債は、発行額の0.2%相当額の物品を学校や医療・福祉施設などに贈り支援することができます。文教キャンパスにて行われた贈呈式では、嶋崎社長より河野学長(同大)に目録を手渡しました。



贈呈式の嶋崎社長(左から2人目)と河野学長(左から3人目)



この街の美しい風景と人々の穏やかな営み  
ふるさとの暮らしを守り明るい未来を創造する  
長崎バスグループの力強い歩み

新しい時代、来るべき100年に一度の変革期。  
あらゆる変化の波に乗り前へ進む、  
それが私たちのモットーです。  
地域の暮らしを支える企業として、  
ふるさとが抱える課題と向き合い解決へ導くための  
さまざまな取り組みを推進します。





## 島原鉄道(株)横軸連携強化

### 九州産業交通ホールディングス(株)

島原鉄道(株)と九州産業交通HD(株)は、熊本・島原の観光回遊人口の増進を目的とした包括的業務提携契約を締結し、2019年2月1日調印式典を熊本港にて行いました。

九州産交グループでは、観光交流人口の増大を目的として、熊本交通センターバスターミナルを起点とした九州内および熊本県内を高速バス・路線バスで結ぶ“Hub & Spoke”構想(自転車のタイヤの軸とスポークで構成する放射線をイメージしたバスを活用した観光交流)を推進しています。

また、島原鉄道グループでは、島原半島だけに留まらず、有明海を挟む熊本・天草地域との広域連携によって周遊ルートを確認し、交流人口を増加させることが地域全体の活性化につながるという考え方のもと、交通・観光事業を推進しています。

今後、両エリアをつなぐ周遊観光商品の本格的展開に向け、協力してまいります。



熊本港での調印式典



### オリエンタルエアブリッジ(株)



長崎空港内での調印式

島原鉄道(株)とオリエンタルエアブリッジ(株)が業務提携を結び、両社社長による調印式を長崎空港内で執行了いました。

長崎県の人口減少が進む中、陸と空の交通事業者が協力し交流人口を増加させることを目的とした業務提携。今後は相互プロモーションや世界遺産を活用した旅行商品の造成などを実施する予定です。

## 『GOTO TSUBAKI HOTEL』 グランドオープン

五島自動車(株)が運営する新ホテル『GOTO TSUBAKI HOTEL』が2019年6月15日にグランドオープンしました。福江港から徒歩5分の場所に位置するこのホテルは、「青に、咲く」のキャッチコピーのままに、目の前には、五島の青い海が広がっています。

細部にまでこだわった客室は、ご旅行やビジネスなど用途に合わせてお選びいただけます。さらに、五島自動車のプライベートビーチ、香珠子海水浴場に面した食事処「椿茶屋」も建て替えを行い、ホテルにあわせオープンしました。

椿茶屋の店内からは、香珠子の砂浜と五島灘が一望でき、美しい景色とともに、五島の新鮮な海の幸、山の幸をお楽しみいただけます。



# Nagasaki Bus Groups

長崎バスグループ連携

## グループ会社合同で 新入社員研修会を 開催

長崎バス安全教育センターにて新入社員合同研修会を行いました。研修に参加したのは、長崎バスグループに入社したばかりの新入社員11社31名の皆さん。

研修初日には、創業の歴史とその中で培われた長崎バスグループの使命と経営理念について説明。参加者は、長崎バスグループが地域社会の中で果たすべき役割や企業としての姿勢について理解を深めました。また、グループワーク等を通じ「仕事上のチームワーク」や「報告・連絡・相談」といったビジネスパーソン基礎知識を身に付けたほか、屋外教習場にて安全運転講習を実施。交通事業を基盤とする長崎バスグループの一員として、安全運転や危険予知、アルコール摂取が人体におよぼす影響について学びました。

初めてのグループ合同での研修でしたが、交流を通じてグループ連携の意識醸成を図ることができました。



### 長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バス観光株式会社

さいかい交通株式会社

長崎バス商事株式会社

長崎バス建物総合管理株式会社

長崎バス情報サービス株式会社

長崎バスホテルズ株式会社

ホテル日航ハウステンボス

雲仙温泉青雲荘

長崎バスターミナルホテル

みらい長崎ココウォーク

株式会社COCOアドバンス

五島自動車株式会社

五島タクシー株式会社

島原鉄道株式会社

島鉄観光株式会社

株式会社イズワークス

株式会社エヌタス



## グループ連携 ボウリング大会

グループ各社の交流促進と親睦を深めるため、長崎バスグループボウリング大会を開催し、11社82名が参加しました。今回で3回目となるこの大会では、会社や役職、年齢問わずハイタッチなどをして大いに盛り上がりました。

ボウリングで汗を流した後は、表彰式兼懇親会で更なる親睦を深めました。

Nagasaki Bus  
Group  
**CSR**  
Report 2019



長崎バスグループ  
CSRレポート2019

長崎バス安全教育センターCSR推進課

〒850-0077

長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト  
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト  
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社